

を削減する方向に持っていかないか。

〔答弁〕仙南・仙塩広域水道からの受水費については、昭和51年8月に県や関係市町村が協定を結び、契約水量に基づき支払いをしている。白石だけ契約水量を下げられるかというと、全体で決まっていることなので下げられない。

〔質疑〕湯元簡易水道工事の経過について伺いたい。

〔答弁〕昨年9月議会において可決された応急送水施設設置工事が1月末に完成し、2月から給水を開始し、水量・水質とも良好である。今後は恒久対策を検討していかなければならない。

下水道施設に負担をかけないために

今回の地震と津波の影響により、岩沼市にある県南浄化センターの下水道処理施設が全壊し、処理ができない状態です。

トイレや食器洗い、お風呂などの使用時には、排水量を減らすようご協力をお願いいたします。

議会初日に可決した平成22年度補正予算

◎第3号議案・平成22年度白石市一般会計補正予算(第7号)

〔質疑〕子宮頸がんワクチンについては、対象は中学1年から高校1年まで、ヒブと小児用肺炎球菌ワクチンは0歳から4歳までと聞いているが、線引きはどこでするのか。

また、対象者に対してどのような方法で知らせるのか。

〔答弁〕対象者の年齢判断だが、これは事業を開始する日をもって満年齢で判断するようになる。

ただ、子宮頸がん等については中学1年生から高校1年生までということになっているので、これは学年で判断することになる。

対象者に対する通知の方法だが、接種対象者全員、子宮頸がんワクチンについては675人、ヒブ・肺炎球菌については1千288人、合わせて1千963人に無料接種券、予診票、接種に対する説明書等、を同封して全員に郵送したいと考えている。

特別委員会 活動報告

河川環境保全対策

2月28日に関係部長等の出席を得て、川原子地区の養豚場について及び河川事業の現況について報告を受けた。

川原子地区の養豚場については、昨年11月に行った川原子地区周辺の水質検査において、全ての検査項目で異常はなく、この結果については地元自治会長に報告しているとの説明があった。

また、昨年問題になった、堆肥の野積み等の問題は出ていないのか、との質疑については、現時点ではそのような事実は把握しておらず、問題はないものと考えている。今後引き続き状況の把握に努め、必要に応じて対策を講じていきたい、との説明があった。

本特別委員会としては、今後とも、川原子地区の養豚場について、状況の変化に注視し、市と一体となって情報の

収集に努めていくことを確認した。

次に、河川事業の現況については、平家川等、市内のおもな河川改修事業について報告を受けた。

まず、平家川の河川改修については、本年度は事業費5千万円で、市道鳥越線橋梁下部工事等を、平成23年度からは事業費6千万円で同橋梁上部工事等をそれぞれ予定しており、これら工事のための仮設道路設置に関する借地の補償契約を締結したところである、との説明があった。

また、関連する市管理のよだれ川については、平家川との合流地点から市道田中前1号線付近までの区間において、^{しんせつ}浚渫工事を行っているところである、との説明があった。

また、白石川の緑地公園付近の整備に関してどのような方針をもって整備を行っているのか、との質疑については、白石川の水環境を考える懇談会が、白石市、観光協会、自然保護団体、白石川漁協等を構成メンバーとして、県の主催で開催され、水は大きな財

産であるとの共通認識のもと、緑地公園をより水に親しめる場所にするため、立木や土砂を撤去し、水の流れを緑地公園寄りに変更する工事を行っている、との説明があった。

本特別委員会としては、これら河川事業について、今後とも、市と連携を図りながら、白石川を初めとし、平家川等の中小河川の管理や改修促進のために、情報の収集等を実施していくことを確認したところである。



河川環境保全対策特別委員会の現地視察